

桐桜ライブラリー NEWS



～司書のおすすめ本紹介～

『名探偵たちが さよならを告げて』

ある高校で、未完成の小説の筋書きと同じ殺人事件が起き、親友を喪った深野あずさは「探偵になるのは私じゃない」と真相を辿り始める。

国語教師兼司書の辻玲人とともに少しずつ事実を明らかにしていくが、そのなかで2番目の殺人事件が起きる。

そして辻の過去に関わる8年前に起きた悲劇が、この2つの事件の謎を解く鍵となる。

何度も見える世界が反転する、最後の1ページまで目が離せない青春ミステリー。

(藤つかさ/著 角川書店/発行 2025年)

『センス・オブ・ワンダー』

生態系を破壊する科学物質への警鐘を世に知らしめた名著、「沈黙の春」。その著者カーソンは、幼い甥と一緒に自然に触れた日々の随想をつづっていました。

そこで語られるのは、自然の美しさや偉大さ、複雑さに根源的な喜びを感じる感覚「センス・オブ・ワンダー」。

身近な自然(草木や空・宇宙、風や大気)に目を凝らし、全身で感じることや、自然の不思議に心動かされる感性が人生に与える重要性が述べられています。

そのつづきを研究者が書いた「僕たちの「センス・オブ・ワンダー」」も収められています。

(レイチェル・カーソン/著、森田真生/著・訳 筑摩書房/発行 2024年)

読書アンケートへのご協力ありがとうございました！

読んでみたい本や好きな作家を思い出したら、
ぜひ読書に取り組んでみてください。

♪ あたらしく入った本 ♪

請求記号

書名

著者

出版社

●文学●

913.6-カ	恋はだいたい利己的なもので	加藤碧 著	KADOKAWA
913.6-カ	友が、消えた	金城一紀 著	KADOKAWA
913.6-カ	救われてんじゃねえよ	上村裕香 著	新潮社
913.6-フ	名探偵たちがさよならを告げても	藤つかさ 著	KADOKAWA
915.6-フ	祖母姫、ロンドンへ行く!	榎野道流 著	小学館
913.6-カ	恋はだいたい利己的なもので	加藤碧 著	KADOKAWA

●科学・精神医学●

402.9-カ	センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン 著	筑摩書房
448.9-テ	Q&A で地域を再発見! 手書き地図の教科書	手書き地図推進委員会 編著	学芸出版社
491.59-サ	身のまわりの「危険物の科学」が 一冊でまるごとわかる	齋藤勝裕 著	ベレ出版
498.39-ト	精神科医 Tomy の 自分を大切に作る習慣	Tomy 著	フォレスト出版

●歴史●

210.36-オ	一冊でわかる平安時代	大石学 監修	河出書房新社
291.62-ウ	京都の庭とお菓子さんぽ	烏賀陽百合 著	エクスナレッジ

●社会●

361.45-イ	「何回説明しても伝わらない」は なぜ起こるのか?	今井むつみ 著	日経 BP
336.9-マ	9 割捨てるとサクッとわかる会計入門	マスカワシゲル 著	フォレスト出版
366.14-サ	働きはじめる前に知っておきたい ワークルールの超さほん	佐々木亮 監修	旬報社
367.99-ウ-2	あなたの心と体を守る性の知識 2 生命の安全教育 ; 加害者・被害者・傍観者にならないために	良香織 監修	ポプラ社

ただいま展示中@図書館

「全国の高3生が
読んでいる本」
(あなたが読んだあの本が
あるかも…?)

「2025年本屋大賞」
(会津地方の高校司書による
紹介メッセージあり!)

「動物の本」
(かわいい生物たちに
癒されよう)